

AHP を用いたニュースポーツ紹介システムの提案

村山 大斗[†] 植竹 朋文[†]

専修大学 経営学部[†]

【研究動機】

近年、生涯スポーツへの関心が高まる中、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツが注目を集めている。しかし現状では、ニュースポーツを知る方法が限られており、希望者にうまく紹介できているわけではない。この問題を解決し、ニュースポーツの発展をさせたいと考えたのが研究動機である。

【研究対象・目的】

本研究では新しいスポーツを始めたいと思っている人を対象に、利用者の興味にあったニュースポーツを紹介するシステムを提案することを目的とする。

【現状分析】

ここではまず、ニュースポーツの現状の調査を行った。

ニュースポーツとは、ウィキペディアによれば以下のように定義される[5]。

- **ニュースポーツの定義:**

誰もが、何歳からでも、いつまでも楽しむことができる新しいスポーツ。

例:ネオホッケー、スポーツ吹矢など

次に、ニュースポーツを始めたいきっかけは何かを明らかにするために、ニュースポーツ経験者 19 人に、「ニュースポーツを始めたいきっかけは何?」というアンケート調査を行った。

調査の結果(図1)、以下の3つの要素が重要であることが明らかになった。また、人によってこのバランスが異なることも明らかになった。

- 楽しさ
- 始めやすさ
- 得られるもの

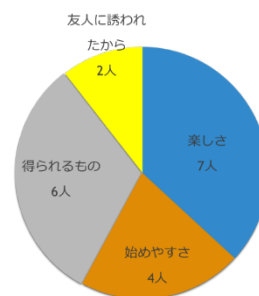


図1 アンケート調査

次に、上記の3点から、これらの情報が提示されているかと、これらの点から検索できるかについて、既存の代表的なシステムの分析を行った。

表1 既存システムの分析

項目	情報の発信	検索のしやすさ
①市区町村のHP	△	×
②各ニュースポーツのHP	△	×
③ニュースポーツイベント	△	×

① 神奈川県厚木市[2] ② カバディHP[3] ③ ニュースポーツ EXPO[4]

分析の結果、必要な情報は提供されているものの、利用者のニーズに応じた検索は難しいことが明らかになった。

【現状分析のまとめ】

- ・ ニュースポーツとは、「誰もが、何歳からでも、いつまでも楽しむことができる、新しいスポーツ」である。
- ・ ニュースポーツをはじめるとして、「楽しさ・始めやすさ・得られるもの」が重視されている。
- ・ しかし、ユーザーのニーズに適した紹介システムはない。

【システム提案】

楽しさ・始めやすさ・得られるものに注目し、ユーザーに適したニュースポーツを紹介するシステムを提案する。ここでは、各人の好みを特定するために AHP を用いることにした。

* AHP は複雑な状況での意思決定を行うための構造化法の 1 つである。この手法は、“正しい”決定を

Proposal of new sports introduction system using AHP
[†]Hiroto Murayama, Tomofumi Uetake
 School of Business Administration, Senshu University

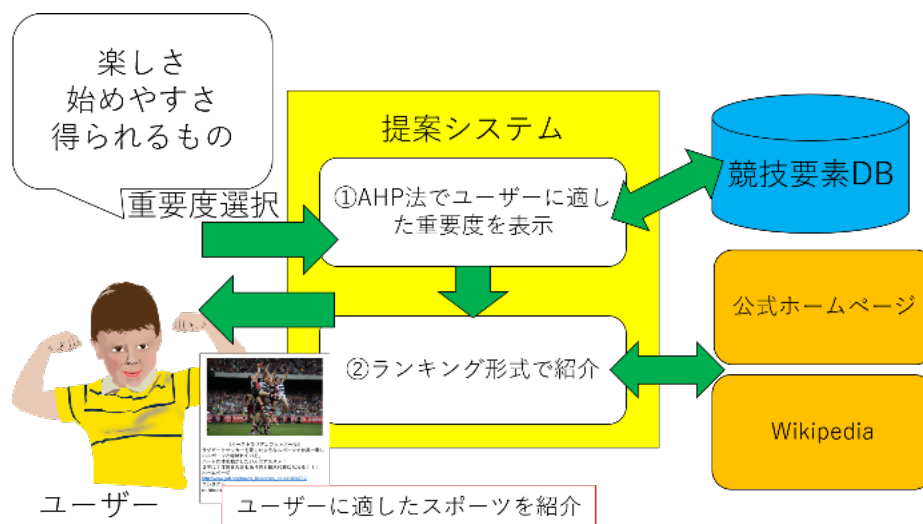


図1 システム概要

下すために使われるというよりも、決定者自身にとっての必然性や理解を最もよく反映させた決定を導き出すための手法である[1]。

【システムの概要】

システム概要を図2に示す。

- ① ユーザーの持つ重要度を表示
「楽しさ・始めやすさ・得られるもの」を一対比較しユーザーの重要度をもとに AHP 法を用いてユーザーの持つ重要度を表示。
- ② ランキング形式で紹介
競技要素 DB とユーザーの重要度のデータを計算し、ランキング形式で紹介。

競技要素 DB:
競技経験者が定義した競技 DB

【効果検証】

本システムの有効性を検証するため、10代~50代の男女 34人に、実際に本システムを利用してもらい効果検証を行った。

表2 効果検証

項目	評価
紹介されたニューススポーツの妥当性 (含有率)	79%
興味が持てるニューススポーツに出会えたか (5段階評価)	4.8
ニューススポーツの紹介ページの見やすさ (6段階評価)	4.0

検証の結果、「紹介されたニューススポーツの妥当性 (含有率)」は79%と8割近く利用者の納得するニューススポーツを紹介することができていた。

「興味が持てるニューススポーツに出会えたか」とい

う質問には、5段階評価のうち4.8と高評価が得られた。

「ニューススポーツの紹介ページの見やすさ」という質問では、5段階評価のうち4.0と他と比べると低かったので改善していきたい。

以上のことから、ユーザーに適したニューススポーツを紹介できていることが証明され、本システムの有効性が立証された。しかし、性差や年齢差によって、有効に機能しないこともあることが明らかになった。

【結論】

本システムを用いることによって利用者は新しいスポーツを効率良く見つけることができ、ニューススポーツ団体も競技人口が増え普及活動の手助けにもなると考えられる。

【今後の課題】

今後の課題としては、効果検証から女性や年配ユーザーからは良い結果が得られなかったため、幅広い年齢層が等しく良い結果が得られるようにシステムの改善を進めていく予定である。

【参考文献及び参考 URL】

[1] 高萩 栄一郎, 中島 信之, Excelで学ぶAHP入門 第2版, オーム社, 2018
 [2] 神奈川県厚木市ニューススポーツ紹介, https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/shiminbenri/ko_sodatekyoiku/sports/new/index.html
 [3] 日本カバディ協会, <https://www.jaka.jp/>
 [4] ニューススポーツ EXPO, <http://www.newsports-expo.com/>
 [5] ウィキペディア(Wikipedia) ニューススポーツ, <https://ja.wikipedia.org/wiki/ニューススポーツ>